

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【計算期間】	第11期（2019年5月1日～2019年10月31日）
【発行者名】	大和証券リビング投資法人 （2020年4月1日付で、日本賃貸住宅投資法人を吸収合併継続法人、日本ヘルスケア投資法人を吸収合併消滅法人とする吸収合併を行いました。2020年4月1日付で日本賃貸住宅投資法人から大和証券リビング投資法人に名称変更しました。）
【代表者の役職氏名】	執行役員 正田 郁夫
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座六丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社 コーポレート本部 部長 千葉 貴志
【連絡場所】	東京都中央区銀座六丁目2番1号
【電話番号】	03-6757-9680
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

日本ヘルスケア投資法人が2020年1月21日に提出しました第11期（自2019年5月1日至2019年10月31日）有価証券報告書の記載事項のうち、「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 1 投資法人の概況（1）主要な経営指標等の推移 次期の見通し（ロ）今後の運用方針及び対処すべき課題 b. 新規物件の投資戦略（ ）資産運用会社の実績及びネットワーク」に記載の大和証券ホテル・プライベート投資法人の2019年12月末日現在の運用資産受託残高の記載、並びに「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況（2）投資資産 その他投資資産の主要なもの（ル）個別信託不動産の概要」に記載のさわやか海響館の建蔽率の記載について、それぞれ書類作成時の確認が不十分であったために誤りがあったことが判明したことから、これらを訂正するため、本訂正報告書を提出いたします。

2【訂正事項】

下線_____の部分は変更箇所を示します。

第一部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

1 投資法人の概況

（1） 主要な経営指標等の推移

次期の見通し

（ロ）今後の運用方針及び対処すべき課題

b. 新規物件の投資戦略

（ ）資産運用会社の実績及びネットワーク

< 訂正前 >

（前略）

また、物件取得に当たっては、大和証券オフィス投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約4,638億円）、日本賃貸住宅投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約2,278億円）、大和証券レジデンシャル・プライベート投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約1,218億円）、及び大和証券ホテル・プライベート投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約298億円）の資産運用で培ってきた様々な関係先（事業会社、金融機関、大手不動産仲介会社及び不動産仲介業者等）との強固な関係構築に基づく多様な物件取得ルートを活用した物件取得に努めています。

（後略）

< 訂正後 >

（前略）

また、物件取得に当たっては、大和証券オフィス投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約4,638億円）、日本賃貸住宅投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約2,278億円）、大和証券レジデンシャル・プライベート投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約1,218億円）、及び大和証券ホテル・プライベート投資法人（2019年12月末日現在の運用資産受託残高（注）：約407億円）の資産運用で培ってきた様々な関係先（事業会社、金融機関、大手不動産仲介会社及び不動産仲介業者等）との強固な関係構築に基づく多様な物件取得ルートを活用した物件取得に努めています。

（後略）

5 運用状況

（２） 投資資産

その他投資資産の主要なもの

（ル） 個別信託不動産の概要

< 訂正前 >

（前略）

物件番号	5	物件名称	さわやか海響館		
(中 略)					
土地	地積(㎡)	1,350.04	用途地域	近隣商業地域	
	所有形態	所有権	容積率 / 建蔽率(%)	200 / 60	

（後略）

< 訂正後 >

（前略）

物件番号	5	物件名称	さわやか海響館		
(中 略)					
土地	地積(㎡)	1,350.04	用途地域	近隣商業地域	
	所有形態	所有権	容積率 / 建蔽率(%)	200 / 80	

（後略）